

大久保医院新聞

平成 30 年(2018 年)10 月 5 日発行 (第 151 号)

発行所:大久保医院 (Tel:045-788-6565)

日本小児科学会認定専門医、日本糖尿病学会認定専門医

所在地:横浜市金沢区六浦南2丁目 42 番 18 号

<http://www011.upp.so-net.ne.jp/ookubo-c-HP/>

インフルエンザワクチンの接種のお知らせ

大久保医院では、例年は、ワクチンの接種を 11 月を中心に行ってきましたが、インフルエンザの流行が早まると予想されるので、今年は 10 月中旬から開始します。

今回の大久保医院新聞で当院のインフルエンザ接種について Q&A で説明いたします。

Q1)インフルエンザワクチンは何時から実施しますか？

A1)インフルエンザワクチン公費と自費での開始日及びその期間(推奨)は、以下の通りです。

公費:開始日 2018 年 10 月 15 日(月)。

期間:10/15(月)~11/14(水)月曜日と水曜日

自費:開始日 2018 年 10 月 16 日(火)

期間:10/16(火)~11/16(金)火曜日と金曜日

Q2)公費、自費でどのようなワクチンを使いますか？

A2)公費ワクチンは、横浜市の決定によりインフルエンザ HA ワクチン(1.0ml)バイアル(防腐剤:チメロサル無添加)を使用します。

自費ワクチンは、インフルエンザ HA ワクチン(0.5ml)シリンジ(防腐剤:チメロサル無添加)を使用します。

Q3)ワクチンの接種回数および料金はどうですか？

A3)13 歳以上の人は、1 回(0.5ml)、3 歳以上 13 歳未満の人は、おおよそ 2~4 週おいて 2 回が推奨されています。

3 歳未満の人は、ワクチン効果の有効性が証明されていませんので、当院では、原則実施していません。

接種料金は、公費自己負担金:2300 円、自費料金:4500 円です。(自費では、チメロサル無添加のワクチンを使用しますので、他院の料金より割高になっています。)

Q4)インフルエンザワクチンの予防効果はどうですか？

A4)ポリオや麻疹等のワクチンほどの高い効果は期待できません。高齢者での発病阻止の有効率は、34~55%、

6 歳未満のそれは、60%と報告されています。

Q5)インフルエンザワクチンの副反応は？

A5)重大な副反応として、ショック、アナフラキシー様症状(じんま疹、呼吸困難、血管浮腫等)が報告され、その他の副反応として、発熱、頭痛、倦怠感、発疹、蕁麻疹が報告されています。

重篤な副反応は、ほとんどが接種後 30 分以内に出現していますので、接種後 30 分は特に注意が必要です。

Q6)チメロサル無添加のワクチン不足

Q7)当院では、平成 17 年(2005 年)より防腐剤のチメロサル(分解後エチル水銀)無添加のインフルエンザワクチンを使用してきました。当院で接種の他のワクチン(麻疹、風疹、四混、ヒブ、肺炎球菌ワクチン、B 型肝炎ワクチン)すべてがチメロサル無添加のワクチンです。

チメロサルの分解物のエチル水銀の安全性に疑問をもつ各地の小児科医により、最近では、各地でチメロサル無添加のワクチンの使用が増えてきました。ところが昨年(2017 年)より、突然チメロサル無添加のワクチンの

供給が減少し、今年はさらに昨年以上の供給減少が通知されています。そこで今年は供給減少に対して以下のように対応いたします。

①本年も自費のインフルエンザワクチンは、チメロサル無添加のワクチンのみでおこないます。

②当院に供給されるチメロサル無添加のワクチンの供給量の範囲内の人数に限定して実施をします。

この結果、当院でのインフルエンザワクチン接種者数は、きわめて少数になりますがご理解ください。

長野県の小布施・須坂・善光寺の旅

1) 須坂:

須坂は長野県の北東部にある江戸時代の須坂藩の城下町で、長野駅から長野鉄道で 20 分の所にあります

明治から昭和の初期にかけて製糸業で栄えました。当時の繁栄を偲ばせる土蔵や商家が残り、蔵の街として最近人気です。

笠鉾会館の展示で、幕末の頃、須坂藩の藩主が江戸城で徳川 15 代将軍慶喜と会見しその直後自刃した大事件を知り、事件後の藩の混乱はいかばかりかと思いました。

2) 小布施:

須坂より長野電鉄で 2 駅先にある観光地です。千曲川の舟運が発達した江戸時代は、交通と経済の要所として栄えました。現在は栗と北斎館で有名です。観光の中心街では、個人の庭園を公開していましたのでゆっくり散策して楽しみました。小布施の街の人皆で観光を支えている心意気を感じました。

街の東に岩松院があり、その本堂の大間にある畳 21 枚分の大きさの天井絵は北斎最晩年の大作「大鳳凰図」です。今でも当時の色も鮮やかに残り、鳳凰が今に動きださそうではばらく見入りました。

3) 善光寺:

旅の最終日は、あいにくの雨模様でしたが、午前中は、松代の城跡を見物し、午後に善光寺を参拝しました。

善光寺の大門を通り、参道から本堂を訪れ参拝しました。その後、本堂でお戒壇巡り(瑠璃壇床下の回廊巡り)をしました。真っ暗な回廊を壁伝いに数分巡るのですが、その時間がとても長く感じ、外に出たときはホットしました。そのあと山門に上り外の景色を眺めました。右の写真は、山門の 2 階から参道の景色を撮った 1 枚です。



当院はユニセフ活動に協力しています。皆様より頂いた平成 30 年 1 月 21 日より平成 30 年 10 月 3 日までの募金 7,347 円をユニセフ協会に送金します。新聞をお持ちになる方はコピー代として募金活動にご協力下さい